

## 「自然素材で作った歩くワニ」

大橋正規 (六甲山自然案内人の会)

今まで自然工作は各地のサークルで子供たちを集めて指導してきましたが、もう少し高度なものを作りたいと思っていた処、堺ふれあいの里に松ぼっくりで作った恐竜やワニの置物がありそれを参考によりリアルで動く工作に挑戦しました。



最初は松ぼっくりだけで作ろうと思いましたが、形を整えよりリアルにするためには松ぼっくりのへたの部分の薄く切り取り、木の丸太で作った躯体に貼り付ける方法にしました。松ぼっくりは大変強く鋏や鋸では到底切れませんので電動丸鋸を使いました。

ワニの躯体は山に切り倒してあった、リョウブの丸太を持ち帰り、マンションのバルコニーでナタを使い一刀彫の要領で形を整えましたが、隣からやかましいとの苦情もあり苦労しました。

ワニを動かせるためには頭・胴・尾の三つに分け、夫々を繋ぎスムーズに動くように工夫しました。丸太の躯体の微妙な膨らみやへこみは新聞紙を小さく砕き木工ボンドで練り合わせて塗り付けました。

歩かせる仕掛けに一番苦労しました。胴の下に台車を付け台車と脚を繋ぎ、ワニを引っ張ると台車に連動した脚が前後に動くように工夫しました。

透明な釣り糸で引っ張ればワニが自分で歩くように見えます。街路や公園で歩かせると皆さんびっくり仰天!

散歩中の犬も驚いて逃げていきます。



### 【使用材料】

体全体はクロマツ (大)・アカマツ (小) の松ぼっくり、脚はヤブツバキのカクトと実、歯はギンナンの白い実、目はクヌギのカクトとドングリ、背びれはダイオウショウの松ぼっくりの鱗片、台車は軽3.5mmの小丸太、鼻はパンダ豆、自然素材以外に使用したものは、釘8本・ビス4本・台車心棒用のボルト2本・頭・胴・尾を繋ぐボルト2本・台車と脚を繋ぐ太い針金4本でした。

先日、特別養護老人ホームを訪問し披露した処、入居者は勿論のこと職員たちにも大人気でした。マイホームページ <http://24380084.web.fc2.com/hana6.wanitarou.html> にも掲載しています。